



高澤 公 議員

行政情報の提供とその時期について

行政情報の提供とその時期について

質問

常任委員会、特別委員会を問わず、委員会の審査・調査は、主に行政から示される情報を基に会議を進め、その可

否を判断するものである。短時間の審査、調査で済む案件ばかりなら問題はないが、将来にわたり市民に影響を及ぼすことについては慎重な審査を行うのが当然である。

しかし、最近、行政から出てくる情報は、時間的余裕のないものが多いように見受け

られる。庁内で検討したものの、あるいは外部組織等で決められたことを、委員会等で十分な審査を行える時間的余裕のない時期に示すのは、議会・議員として非常に不満なところである。

とりわけ、その最たるものは並行在来線問題であると思う。将来にわたって市民生活を左右する事柄であり、議会や市民団体が真剣にその将来を考えようとしているにもかかわらず、検討材料となる情報の提供が遅れる。その上、

県の検討委員会が秘密会とされているのは、市議会や市民

はないか。

市長答弁

ごみの有料化の目的は、ごみ処理の費用負担の公平化を図ることや、ごみ処理の費用を市民の皆さんに意識していただくことなどである。他の自治体の事例からも、有料化は、ごみの減量効果が高いと判断している。もちろん、引き続き、ごみの分別徹底や生ごみ減量等の施策を進めていく。



鈴木 勢子 議員

ごみ有料化の問題点について

ごみ有料化の問題点について

質問

現在、ビンやプラスチック等の資源ごみの分別は徹底されてきたように思うが、重量のある生ごみは大きな課題と

なっている。このような中、1月25日の市民厚生常任委員会で、平成25年度からのごみ有料化の案が示された。しかし有料化は生ごみの減量の根本的な対策にはならないと考える。有料化の目的は何か。生ごみを減らす行政側の努力、施策展開を進めるべきで



に情報を与える必要はないと考えているとしか思えない。

市行政は、事が起こってから対処するのではなく、将来を見据えた施策を持つべきであり、市の将来をどうするのかについて議会と一緒に考えてこそ、車の両輪であると言えらると思うのだが、市長の考えについて伺う。

市長答弁

私も行政と議会は両輪であると考えている。行政情報の提供とその時期については、担当部署において、審査及び調査に関する事項について各委員会

山ノ井保育園にかかる特別職の減給への条例などについて

質問

今年4月に開園予定であった(仮称)山ノ井保育園の工事遅延の責任として、昨年の12月定例会で市長・副市長・教育長の減給の条例が上程され、その後撤回了された。現在、着工の目処がついた中で、責任問題はどうなのか。

また、当件以降の公共施設的设计委託には、今回の教訓が活かされているか。

の委員長、副委員長と事前に打ち合わせを行っているが、今後も、必要な情報については適切な時期に提供していかねればならないと考えている。



市長答弁

責任問題については、設計業者への責任追及も含め、責任の所在をより明確にした上で再度提案したいと考えている。

また、この件以降、設計業務委託範囲を見直したほか、関係機関協議や許認可等を確認する業務チェックリストを作成し、再発防止を図っている。

《その他質問項目》

- ・森林保全と木質ペレットの普及について
- ・「次世代育成行動計画」と病後児保育の整備について